

# 1月 給食だよ!

2024年度 おひさま岡町保育園 12月27日 発行

## よいお年をお迎えください

今年は年の瀬に園内でも感染症が流行し、大変な日々を過ごされたかと思います。新年にまた元気な姿が見られることを楽しみにしています。

12月は、乳児の生活発表会を行いました。食べる事を通して育っていく子どもたちの姿を見て頂きました。春から、日々子どもたちの成長にたくさん出会い、その度に喜びや驚き、感動がありました。これからも、子どもを真ん中に、保護者、職員と共に考え合っていけたらと思っています。

2月には、2歳～5歳までの生活発表会があります。心の成長が大きい幼児期。そういった姿も見て頂き、成長を喜び合う機会になればと思っています。

年末は寒波がくると言われています。体調を崩さないよう、栄養をしっかりとって元気に新年をお迎えください。来年もよろしくお願いたします。

### <1月の給食は…>

#### 七草がゆ

早春にいち早く芽吹く七草には邪気を払う力があると言われています。そのため、無病息災を祈って七草粥を食べます。

また七草はいわば日本のハーブと言われ、胃腸に負担のかからないお粥にすることで、正月疲れが出始めた胃腸の回復によいとされています。7日(金)の給食で食べます。



#### 鏡びらき

おもち、ハレの日に食べるとされており、鏡餅には神様が宿ると言われています。新年の、10日(金)に「鏡開き」をしたいと思えます。

年神様にお供えした物を食べることで、その年一年健康に過ごせると言われています。鏡開きには無病息災を願う意味も込められています。みんなで一年の健康をお願いしながら、伝統行事を楽しめたらと思っています。



## 地域の中で育つ子どもたち

～食べる事は人とつながり生きること～

おひさま岡町保育園は、住宅街の中にある保育園です。だからこそ、地域の方とのつながりを大切にしたいと考えています。日常的に挨拶を交わすことはもちろん、行事のあるときや、季節の挨拶を子どもたちと共にしています。今年も、“子どもたちに干し柿づくりの経験を…”と渋柿を頂いたり、“庭先のきんかんを収穫してね”など、



地域の方が子どもたちに思いを寄せてくださる姿がたくさんありました。収穫したきんかんをジャムにしてお届けすると、今度はゆずを頂けることに…。食を通じて地域とのつながりが生まれたり、豊かになっています。



またおもちつきの日には、つきたてのおもちをもって、ひまわりぐみの子どもたちが年末の挨拶にいきました。



“喉に詰めないように気を付けて食べてください”と子どもたちが考えた言葉で地域の方に思いを伝えていました。地域の方も“ありがとう、みんなも小学校でいっぱい友だちつくるんだよ。おじいちゃんも80年前に克明小学校言ってたんだよ”と、子どもたちに声をかけてくれました。



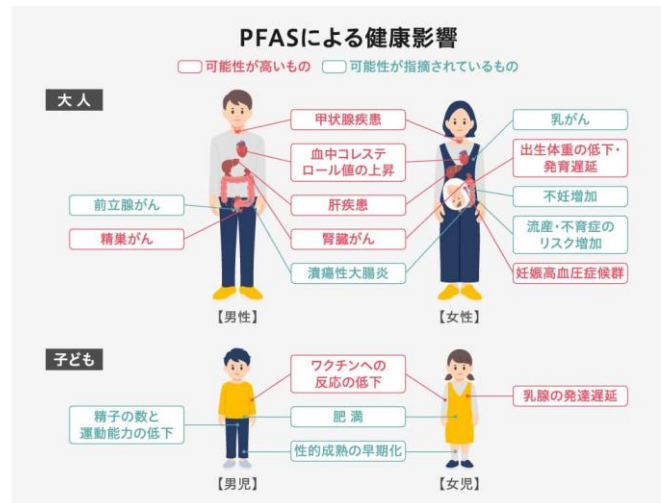
顔が見える関係になることで、お互いへの思いも生まれてきます。地域の方とのやりとりの中で社会性も育っていきます。地域の方に見守られ、地域の中で育っていく子どもたち。地域に根差した保育園づくりを今後も大切にしていきたいと思っています。

食の安全を  
考える  
NO.5

## PFAS汚染について考える

～環境を破壊し、人体を汚染する怖い物質～

最近よくニュースで耳にする『PFAS 汚染問題』。日本全国さまざまな場所で検出されています。化学物質であるこのPFASを使った製品は水や油をはじき、分解しにくいという性質があるため生活用品や工業用品にたくさん使われてきました。環境中で分解されにくいと、土壌に残ったPFASが水道水を汚染していることが近年わかってきました。そして、人体への悪影響も判明してきました。(下記の図参照)そのため、法規定も定められるようになっていきます。



### 今できるPFAS対策とは??



『有機野菜』は、PFAS使用の農薬汚染が少ないです

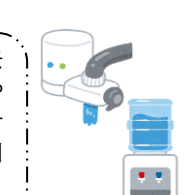


『PFASフリー』の表示があるものを選ぶ



PFAS汚染の少ない領域で摂れたものを選ぶ

PFAS除去の浄水器やウォーターサーバーの利用



行政に汚染が広がらないように法整備を求めると共に、汚染検査と公表を訴えていく必要があります!!

参照: 食べ物通信